



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 山洋電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当 (氏名) 塚田 明

TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成23年11月2日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,457	15.4	2,845	14.8	2,722	22.0	2,812	34.8
23年3月期第2四半期	32,467	114.9	2,479	—	2,231	—	2,086	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,630百万円 (91.0%) 23年3月期第2四半期 1,377百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	45.27	—
23年3月期第2四半期	33.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	74,472	—	37,802	—	—	50.0
23年3月期	74,395	—	35,609	—	—	47.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 37,235百万円 23年3月期 35,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,300	0.0	5,500	△3.3	5,100	△6.3	4,500	△0.4	72.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	64,860,935 株	23年3月期	64,860,935 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,724,886 株	23年3月期	2,721,074 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	62,137,775 株	23年3月期2Q	62,149,154 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災により急激に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧にともない、持ち直す動きが見られました。しかし、海外経済の減速や急激な円高の進行などにより、依然として不透明な状況が続いています。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの設備産業業界においては需要が堅調に推移しました。また、7月1日付でSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. インド支店を設立し、東南アジア市場での販売拡大を図りました。

その結果、当期間における連結売上高は37,457百万円（前年同期比15.4%増）となり、連結営業利益は2,845百万円（前年同期比14.8%増）、連結経常利益は2,722百万円（前年同期比22.0%増）、連結四半期純利益は2,812百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

受注高は36,253百万円（前年同期比2.4%減）、受注残高は11,954百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は36,611百万円（前年同期比8.1%増）となり、セグメント利益は1,698百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は3,121百万円（前年同期比1.1%減）となり、セグメント利益は179百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S. A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は1,907百万円（前年同期比31.2%増）となり、セグメント利益は139百万円（前年同期比153.7%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は6,105百万円（前年同期比45.1%増）となり、セグメント利益は351百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI Techno Service (Singapore) PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は5,363百万円（前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益は356百万円（前年同期比96.2%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クリーニングシステム事業

クリーニングシステム製品「San Ace」は、太陽光発電、燃料電池、電気自動車充電装置、画像表示装置、およびデータセンター向けに多くの需要がありました。

従来からの大口市場であったサーバ業界向けの需要は、国内、海外とも堅調に推移しました。中国向けを中心としたファクトリーオートメーション業界は、当期間後半に需要がやや減少しました。

その結果、売上高は8,750百万円（前年同期比3.8%増）、受注高8,134百万円（前年同期比7.0%減）、受注残高1,595百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、公共事業向け太陽光発電用パワーコンディショナなどの需要が堅調に推移しました。

東日本大震災後の防災用として、エンジン発電機は多くの需要がありました。データセンター向け無停電電源装置の需要は堅調でした。保守サービスビジネスは好調に推移しました。

その結果、売上高は4,120百万円(前年同期比16.2%増)、受注高4,842百万円(前年同期比8.1%増)、受注残高2,845百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、工作機械・射出成形機・チップマウンタなどの各業界で需要が堅調に推移しました。

しかし、当期間後半では、中国の金融引き締め政策の影響で、設備投資の需要は減少しました。

その結果、売上高は20,400百万円(前年同期比18.3%増)、受注高19,227百万円(前年同期比5.8%減)、受注残高5,379百万円(前年同期比30.4%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、医療機器関係、新エネルギー関連からの需要などに加え、電力不足対応の火力発電所関係の需要が増加しました。

その結果、売上高は2,942百万円(前年同期比22.8%増)、受注高2,744百万円(前年同期比6.4%増)、受注残高1,799百万円(前年同期比57.2%減)となりました。

⑤電気工事事業

主要事業分野の製鉄プラント設備、電機設備の工事需要は、全般的に回復の遅れはあるものの、圧延機工事および震災復興工事の需要がありました。

その結果、売上高は1,244百万円(前年同期比46.4%増)、受注高1,304百万円(前年同期比40.2%増)、受注残高333百万円(前年同期比40.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で76百万円、純資産で、2,193百万円の増加、負債では2,116百万円の減少となりました。

総資産の主な変動要因は、商品及び製品の増加499百万円、原材料及び貯蔵品の増加674百万円、投資有価証券の減少640百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加877百万円、短期借入金の減少3,016百万円によるものです。

純資産の主な増加要因は、利益剰余金の増加2,377百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、8,810百万円となり、前連結会計年度末より12百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動による資金の増加は、4,311百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,427百万円、減価償却費1,302百万円、たな卸資産の増加1,227百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動による資金の減少は、818百万円となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出468百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動による資金の減少は、3,529百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額3,174百万円、長期借入れによる収入697百万円、長期借入金の返済による支出477百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年7月26日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当該事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,083	9,309
受取手形及び売掛金	23,128	22,688
有価証券	189	130
商品及び製品	3,705	4,205
仕掛品	3,911	3,853
原材料及び貯蔵品	5,886	6,560
未成工事支出金	125	221
未収入金	726	759
繰延税金資産	914	1,236
その他	377	602
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	48,017	49,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,121	8,787
機械装置及び運搬具（純額）	3,131	2,843
土地	6,368	6,368
建設仮勘定	597	299
その他（純額）	634	732
有形固定資産合計	19,854	19,031
無形固定資産	509	497
投資その他の資産		
投資有価証券	3,955	3,314
繰延税金資産	1	0
その他	2,086	2,121
貸倒引当金	△28	△29
投資その他の資産合計	6,014	5,408
固定資産合計	26,378	24,937
資産合計	74,395	74,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,146	15,023
短期借入金	12,790	9,773
未払法人税等	337	774
繰延税金負債	0	—
役員賞与引当金	60	30
環境対策引当金	636	357
その他	3,988	4,120
流動負債合計	31,959	30,080
固定負債		
長期借入金	3,994	3,974
リース債務	42	82
退職給付引当金	555	634
繰延税金負債	272	118
再評価に係る繰延税金負債	1,119	1,119
負ののれん	68	—
その他	773	661
固定負債合計	6,826	6,590
負債合計	38,786	36,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	15,161	17,539
自己株式	△893	△896
株主資本合計	35,654	38,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	△98
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	△1,410	△1,353
その他の包括利益累計額合計	△561	△794
少数株主持分	515	566
純資産合計	35,609	37,802
負債純資産合計	74,395	74,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	32,467	37,457
売上原価	25,414	29,805
売上総利益	7,053	7,652
販売費及び一般管理費	4,573	4,807
営業利益	2,479	2,845
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	49	56
助成金収入	15	101
負ののれん償却額	137	68
その他	51	74
営業外収益合計	269	322
営業外費用		
支払利息	79	68
為替差損	373	364
その他	65	12
営業外費用合計	518	445
経常利益	2,231	2,722
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	—	885
特別利益合計	0	885
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	4
投資有価証券評価損	4	171
クレーム対策関連費用	209	—
役員退職慰労金	—	4
その他	19	—
特別損失合計	253	179
税金等調整前四半期純利益	1,977	3,427
法人税、住民税及び事業税	273	846
法人税等調整額	△427	△287
法人税等合計	△153	558
少数株主損益調整前四半期純利益	2,131	2,869
少数株主利益	44	56
四半期純利益	2,086	2,812

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,131	2,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388	△289
為替換算調整勘定	△365	51
その他の包括利益合計	△753	△238
四半期包括利益	1,377	2,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,357	2,579
少数株主に係る四半期包括利益	20	51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,977	3,427
減価償却費	1,250	1,302
売上債権の増減額(△は増加)	△2,247	486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,860	△1,227
仕入債務の増減額(△は減少)	2,592	776
その他	927	16
小計	1,640	4,782
法人税等の支払額	△147	△469
その他	△27	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,465	4,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△588	△468
その他	131	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456	△818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,473	△3,174
長期借入れによる収入	—	697
長期借入金の返済による支出	△640	△477
配当金の支払額	△246	△432
自己株式の取得による支出	△2	△2
その他	△100	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	482	△3,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△322	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,168	△12
現金及び現金同等物の期首残高	5,928	8,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,097	8,810

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	24,630	3,130	1,437	2,953	314	32,467
セグメント間の内部売上高または振替高	9,230	25	16	1,254	4,699	15,226
計	33,860	3,156	1,454	4,208	5,013	47,693
セグメント利益	1,888	138	54	261	181	2,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,525
セグメント間取引消去	△45
四半期連結損益計算書の営業利益	2,479

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	27,654	3,084	1,897	4,449	371	37,457
セグメント間の内部売上高または振替高	8,957	36	9	1,655	4,992	15,651
計	36,611	3,121	1,907	6,105	5,363	53,109
セグメント利益	1,698	179	139	351	356	2,724

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,724
セグメント間取引消去	121
四半期連結損益計算書の営業利益	2,845

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。